

TOKYO TORCH 常盤橋タワー

ZCFC が次の 100 年も姿を変えず、東京を見守る。

TOKYO TORCH 常盤橋タワーは次の 100 年も東京駅で東京の成長を牽引していくという想いが込められ、建築されました。そんな今後の東京の発展を牽引していく建築の顔となるエントランスにフロントの ZCFC（高耐食性メッキ鋼板）が採用されました。

設計当初は銅が使いたいという話もありましたが、やはりコストや機能面を見ると現実的ではない、そこで FRONTCRAFT に白羽の矢が立ったのです。

あえて出しているムラが表面から見えるという、職人の手作業で作られた美しさが東京駅周辺の空気にマッチし、昼夜で別の表情を魅せるという今までにないエントランスが完成しました。

そして、意匠性を持ちながらも、太陽光による品質劣化および耐候性の評価を行う試験をクリアするという耐久性も兼ね備え、さらには傷がついた場合は補修処理も行うことができるという特徴も持っています。そんなデザイン性とメンテナンス性を高い次元で両立している ZCFC（高耐食性メッキ鋼板）が使用されたエントランス。次の 100 年も、姿変えず、TOKYO TORCH 常盤橋タワーの顔として東京の成長を見守ります。



TOKYO TORCH 常盤橋タワー 決定サンプル
ZCFC- 特注色

